JSMN

The 20th Annual Conference of Japan Society of Maternity Nursing

# 第20回
# 日本母性看護学会学術集会

プログラム・抄録集

会 期　2018年 6月23日(土)・24日(日)

会 場　埼玉県立大学　〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

学術集会長　鈴木 幸子　埼玉県立大学 保健医療福祉学部　教授

メインテーマ

## ウィメンズヘルスを支える多職種連携の実践

20周年記念講演　リプロダクティブ・ヘルス&ライツと生殖補助医療の近未来

20周年記念シンポジウム　転換期に立つ母性看護学

JSMN

# 第20回
# 日本母性看護学会学術集会

The 20th Annual Conference of Japan Society of Maternity Nursing

プログラム・抄録集

メインテーマ

## ウィメンズヘルスを支える多職種連携の実践

会期 2018年6月23日(土)・24日(日)

会場 埼玉県立大学 〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

学術集会長 鈴木 幸子 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授

学術集会事務局

埼玉県立大学

事務局長：大月 恵理子

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

TEL/FAX：048-973-4175

E-mail：rh-spu@spu.ac.jp

共催：公立大学法人 埼玉県立大学

# INDEX


学術集会長挨拶 …… 1

日本母性看護学会学術集会一覧 …… 2

学術集会参加者へのご案内 …… 3

発表者・座長へのご案内 …… 6

交通アクセス …… 10

会 場 図 …… 12

日 程 表 …… 14

プログラム …… 16

抄　　録

- 20周年記念講演 …… 29
- 20周年記念シンポジウム …… 30
- 会 長 講 演 …… 37
- 特 別 講 演 …… 38
- 教 育 講 演 …… 39
- シンポジウム …… 45
- 交 流 集 会 …… 55
- 市民公開講座 …… 59
- 教育セミナー …… 63
- ランチタイムセミナー …… 67
- 共催ランチョンセミナー …… 69
- 一般演題（口演） …… 73
- 一般演題（ポスター） …… 91

査 読 者 …… 131

企画・実行委員一覧 …… 132

後援・協賛一覧 …… 133

学術集会長挨拶

# 第20回日本母性看護学会学術集会開催にあたって

学術集会長　鈴木 幸子
埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授

第20回日本母性看護学会学術集会を、平成30年6月23日（土）、24日（日）埼玉県越谷市の埼玉県立大学にて開催いたします。

メインテーマは「ウィメンズヘルスを支える多職種連携の実践」といたしました。急速に変容し、多様化する社会において、女性と家族の健康を支援していくには多職種が連携して取り組むことが必須となってきています。母性看護学領域では、子育て世代包括支援センターにおける、多職種のネットワークや協働が開始され、医療機関以外との連携の必要度が高まっています。さらに、研究の側面でも周産期や女性の一生を通じた人間の機能、生活、社会とのつながりなど自然科学、人文科学のあらゆる分野との交流が求められています。

プログラムとして、今回はちょうど学会創設20年の節目にあたりますので、1日目は創設20周年記念の企画を組みました。リプロダクティブヘルスや母性看護学の未来について、講演、シンポジウム等を企画しています。2日目には教育講演として、精神科医の鈴木利人先生に「女性のうつ」に関する予防と対応、弁護士の大倉浩先生に虐待予防のための「子どもシェルター」の活動、理学療法士の山本綾子先生に女性の快適な生活のために「からだを鍛える」のお話をいただきます。シンポジウムでは様々な職種や機関の立場から「思春期・青年期のウィメンズヘルス」、「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」について現状や課題を報告し、討論していただきます。さらに、多職種の方と連携するための「つながる コミュニケーションスキル」について三遊亭楽生師匠の特別講演もあります。このほか、母性看護専門看護師の実践報告会、市民公開講座と高校生のためのナーシングサイエンスカフェ、一般演題発表などを準備しています。また、2日目の昼食時には2つのランチタイムセミナー、2つの共催ランチョンセミナーが開催され、学習や交流の場を盛りだくさんに準備しています。ご参加の皆様にとって、様々な角度からウィメンズヘルスと多職種連携について感じ、考える機会になれば幸いに存じます。

都心から電車に乗って1時間。田んぼの上を渡る風もさわやかなキャンパスに、多くの方々にご参加いただき、母性看護学・助産学の実践と研究について交流できますことを願っております。

# 日本母性看護学会学術集会一覧

| | テーマ | 会　長 | 所　属 | 開催日時 | 場　所 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第20回 | ウィメンズヘルスを支える<br>多職種連携の実践 | 鈴木　幸子 | 埼玉県立大学<br>保健医療福祉学部<br>看護学科 | 平成30年<br>6月23・24日 | 埼玉県立大学 |
| 第19回 | ライフサイクルにおける<br>セクシュアリティ支援<br>〜多様性の意識化と実践〜 | 町浦美智子 | 武庫川女子大学<br>看護学部 | 平成29年<br>6月11日 | 武庫川女子大学 |
| 第18回 | 母性看護学教育再考<br>あらためて考えよう、どう教える?!<br>母性看護学 | 松原まなみ | 聖マリア学院大学<br>大学院看護学研究科 | 平成28年<br>6月18日 | 石橋文化センター |
| 第17回 | Women's Health Research<br>―新たなジェネレーションを切り拓く | 髙橋　眞理 | 順天堂大学大学院<br>医療看護研究科 | 平成27年<br>6月28日 | JA 共済ビル<br>カンファレンスホール |
| 第16回 | 周産期看護と健やか親子21 | 遠藤　俊子 | 京都橘大学<br>看護学部 | 平成26年<br>6月28日 | 京都橘大学<br>清香館 |
| 第15回 | 母性看護学の洗練<br>―家族・父親・夫とともに― | 吉沢豊予子 | 東北大学大学院<br>医学研究科 | 平成25年<br>7月6・7日 | 東北大学<br>川内北キャンパス |
| 第14回 | 母性看護のエビデンスを蓄積する | 齋藤いずみ | 神戸大学医学部<br>保健学科 | 平成24年<br>6月16日 | 神戸大学<br>百年記念館 |
| 第13回 | 周産期のハイリスクケアの構築 | 成田　　伸 | 自治医科大学<br>看護学部 | 平成23年<br>6月11日 | 自治医科大学<br>看護学部 |
| 第12回 | 今、改めて周産期ケアを問う | 村本　淳子 | 三重県立看護大学<br>看護学部 | 平成22年<br>6月19日 | 三重県立看護大学 |
| 第11回 | 子産み子育て文化の再生と母性看護 | 森　　恵美 | 千葉大学看護学部 | 平成21年<br>6月20日 | 千葉大学<br>けやき会館、他 |
| 第10回 | つながりの輪と絆の中で生命を迎え<br>育むために | 末原紀美代 | 大阪府立大学<br>看護学部 | 平成20年<br>6月21・22日 | 大阪大学<br>中之島センター |
| 第9回 | 先端医療とウーマンズヘルス | 久米美代子 | 東京女子医科大学<br>看護学科 | 平成19年<br>6月16日 | 東京女子医科大学<br>弥生記念講堂 |
| 第8回 | 母性看護の専門性と役割拡大 | 田邊美智子 | 福井大学医学部<br>看護学科 | 平成18年<br>6月17・18日 | 福井県あわら温泉<br>「清風荘」 |
| 第7回 | セクシュアリティから母性看護を<br>問う・見直す | 渡部　尚子 | 埼玉県立大学<br>看護学科 | 平成17年<br>6月19日 | 埼玉県立大学 |
| 第6回 | 臨床の知に学ぶ<br>―母性看護学の発展に向けて | 小松美穂子 | 茨城県立医療大学<br>看護学科 | 平成16年<br>6月19・20日 | 茨城県立医療大学 |
| 第5回 | 【産む】、【産まれる】、【生きる】を<br>支える看護の役割 | 岡部　恵子 | 山梨県立大学<br>看護学部 | 平成15年<br>6月 | 山梨県立大学 |
| 第4回 | 看護が担うウィメンズヘルス | 今関　節子 | 群馬大学医学部<br>保健学科 | 平成14年<br>6月 | 群馬大学 |
| 第3回 | 母性看護の国際化と情報化 | 石井　トク | 岩手県立大学<br>看護学部 | 平成13年<br>6月 | 岩手県立大学 |
| 第2回 | 母性看護領域の専門性をいかに<br>高めるか | 野村　紀子 | 旭川医科大学<br>看護学科 | 平成12年<br>6月 | 旭川医科大学 |
| 第1回 | 母性 | 前原　澄子 | 三重県立看護大学<br>看護学部 | 平成11年<br>6月 | 三重県立看護大学 |

# 学術集会参加者へのご案内

## 1. 参加受付

- 参加者の受付は、受付（南棟1階東側）にて行います。
- 受付時間：6月23日（土）12：30～15：00、6月24日（日）8：15～14：00

### 1）事前登録者

- 5月25日（金）23時59分までにオンライン登録を完了し、6月1日（金）までに参加費を納入された方
- 事前に送付されている参加証明証・名札を必ずご持参ください。
- 「事前登録受付」で参加証明証をご提示ください。

### 2）当日参加者

- 「当日参加受付」で参加費をお支払いください。

| | |
|---|---|
| 会　員 | 7,000円 |
| 非会員 | 8,000円 |
| 学　生（大学院生を除く） | 2,000円（学生証の提示が必要です。） |

- お支払いは現金のみです。お釣りのないようにご準備ください。
- 参加費と引き換えに抄録集・参加証明証・名札をお受け取りください。

### 3）名　札

- 名札用ホルダーをご用意しております。各自、お名前とご所属を記入し、ホルダーに入れ、会場内では必ず着用してください。

### 4）抄録集の販売

- 参加費には抄録集が含まれています。
- 追加で抄録集をご希望の方には、2,000円で販売しています。受付でお申し出ください。

### 5）クローク

- 以下の場所にクロークを設置しておりますのでご利用ください。
  設置場所：南棟1階 実習室S1
  設置時間：6月23日（土）12：30～17：30、6月24日（日）8：15～16：50
- 貴重品、パソコン、傘、壊れやすいもの、食品類（要冷蔵・冷凍品）はお預かりできません。
- クローク終了時間までに、お荷物をお受け取りくださいますようお願いいたします。

## 2. 会場の利用

### 1）休憩場所

- 以下の場所にある休憩場所をご利用ください。

| | |
|---|---|
| 学生会館1階、南棟2階 第2会場隣 | 自動販売機あり |
| 南棟1階 実習室S2（企業展示） | ドリンクサービスあり |
| その他 | 通路・デッキにある椅子・テーブルもご利用ください。 |

2）会場内での呼び出し

- 会場内での呼び出しは原則として行いません。
- 総合受付付近（南棟1階東側）に伝言板を設置いたしますので、ご利用ください。

3）災害発生時の避難

- 災害発生時は、各会場の避難アナウンスに従って行動してください。
- ご来場の際に各自、非常口や避難経路をご確認ください。

4）救護室

- 救護が必要な方は、お近くのスタッフにお申し出ください。

5）その他

- 敷地内は、禁煙となっております。
- 会場内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定し、周りの方の迷惑とならないよう、ご配慮くださいますようお願いいたします。
- **個人の知的財産、および個人情報保護のため**、演者の承諾を得ずに、撮影・録音を行うことは禁止とさせていただきます。
- 遺失物は総合受付（南棟1階東側）でお預かりします。

## 3. 教育セミナー

- 教育セミナーでは、CLoCMiP®レベルⅢ認証申請に活用できる研修「周産期の糖代謝異常の考え方と対応（講師：成田伸　自治医科大学 教授）」（定員約200名）を企画しております。
- 学術集会1日目、12時30分より、参加証明書をお持ちの方に、お一人様一枚ずつ、受付横の教育セミナー参加申込書配布受付にて、参加申込書を配布いたします。
- 数に限りがございますので、無くなり次第配布終了とさせていただきます。
- 受け取った参加申込書には、セミナー開始までにお名前と生年月日を記入し、第5会場のセミナー受付にご提出ください。引き換えに資料をお渡しいたします。

## 4. 共催ランチョンセミナー

- 共催ランチョンセミナーは以下の2題を企画しております。

| テーマ（共催企業） | 講　師 | 会　場 | 定　員 |
|---|---|---|---|
| 子宮頸がんと HPV ワクチンの現況<br>～子宮頸がん患者を診てきた産婦人科医の立場から～<br>（MSD 株式会社） | 近藤 一成<br>（NTT 東日本関東病院） | 第2会場 | 100名 |
| 新生児黄疸と経皮ビリルビン測定<br>（コニカミノルタ株式会社／旭化成メディカル株式会社） | 伊藤 進<br>（香川大学 名誉教授） | 第5会場 | 150名 |

- 参加券は、学術集会2日目の6月24日（日）8時30分より、参加証明証をお持ちの方に、お一人様一枚ずつ、受付横の共催ランチョンセミナー整理券配布受付にて配布いたします。
- 数に限りがございますので、無くなり次第配布終了とさせていただきます。
- 「学生（大学院生を除く）」として参加されている方はご遠慮ください。

## 5. ランチタイムセミナー

- ランチタイムセミナーは以下の2題を企画しております。
- 弁当の配布はありません。
- 持参または販売の弁当で昼食をとりながら、ご参加ください。

| テーマ | 講　師 | 会　場 | 定　員 |
|---|---|---|---|
| 助産師が知っておくべき<br>麻酔分娩について | 照井　克生（埼玉医科大学<br>総合医療センター産科麻酔科） | 第6会場 | 100名 |
| 妊娠に悩む女性の支援<br>―妊娠SOS相談窓口の活動― | 姜　恩和（埼玉県立大学） | 第7会場 | 100名 |

## 6. 昼　食

- 学会当日は土曜日・日曜日のため、大学食堂・売店は休業日となっております。
- 弁当の販売を予定しております（予定単価500円）。
- 受付横の弁当販売受付で整理券を販売します。ランチタイムセミナー会場付近で整理券とひきかえに弁当を配布します。
- 会場に近いコンビニは下記のとおりです

| | | |
|---|---|---|
| ローソン | ローソン LAWSON ＋スリーエフ<br>越谷千間台西四丁目店 | 会場から徒歩10分程度 |

## 7. 託児サービス

- 託児サービスは提供しません。授乳室をご利用の方は総合受付にお申し出ください。

## 8. 総　会

- 学術集会2日目6月24日（日）13：10～14：10に第1会場【講堂】にて開催いたします。会員の方はご出席ください。

## 9. 企業展示

- 6月23日（土）14：00～16：00、6月24日（日）9：00～15：00に南棟1階実習室S2で企業展示を行っております。
- ドリンクサービスもあります。

# 発表者・座長へのご案内

## ■発表者の方へ

### 〈個人情報保護について〉

研究発表では、特定の対象者の背景や疾患、治療・看護援助の内容に関する情報を表現することがあります。そのため、対象者が特定されることがないよう、十分に留意する必要があります。

- 結果に直接関与しない情報は公表しない。
- 対象者個人を識別できる対象者のイニシャル、住所（都道府県や市町村の名称を含む）、生年月日、実年齢、特殊な職業、稀な病名、顔写真は記載しない。対象者名は「A 氏」など任意のイニシャルを用いて匿名化する。年齢は「20歳代前半」、児の出生体重は「3,100g台」のように記載する。写真や映像を使用する際には、個人や施設が識別できないように加工する。
- 対象者の入院・通院施設の名称、「当院」「当施設」という記載はしない。施設名を記載する必要がある場合には、「A 病院」など任意のイニシャルを用いる。
- 経過を表現する上で、日付が必要な場合に年月日は記載しない。入院日数などの期間または、「X 年6月下旬」などのように記載する。
- 発表だけでなく質疑応答の際にも、個人が特定されないように配慮する。

### 〈一般演題（口演）発表者の方へ〉

- 本学術集会ではすべて、PC（パソコン）と液晶プロジェクターによる発表となります。
- 使用 PC は Windows 10、アプリケーションは PowerPoint 2016 です。ご自身のパソコンの持ち込みはご遠慮ください。

#### 1）発表方法

- 発表者は参加受付および発表用データ受付を済ませ、演題群開始時間の5分前までに「次演者席」にご着席ください。
- 発表時間は一題につき、15分（発表10分、質疑応答5分）を予定しています。
- 発表者は各自で PC を操作して発表を行ってください。口演終了1分前と発表終了時にお知らせをいたします。口演時間の厳守をお願いいたします。
- 発表者は座長の進行に従ってください。

#### 2）データファイル

- 受付可能なメディアは、USB フラッシュメモリーのみです。ウィルス対策をしたパソコンで作成し、保存してください。
- 発表データ作成の際は Windows 標準フォントをご使用ください。
- 作成したデータのファイル名は、「演題番号－名前（ローマ字）」とし、すべて半角で保存してください。例：「O1-1-suzuki」

3）発表用データ受付（「PC データ受付」）

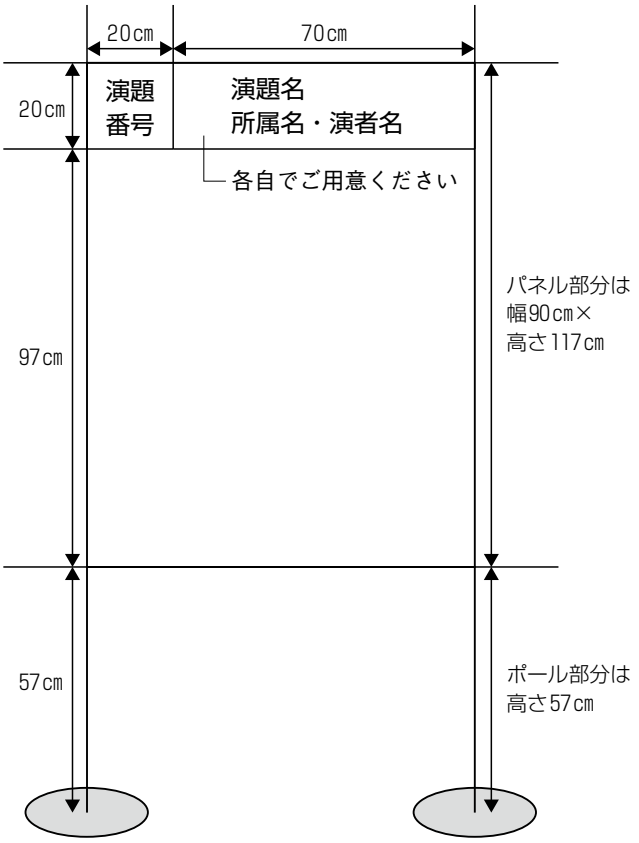
| | |
|---|---|
| 受付場所 | 共通施設棟 1階南側 CAI 実習室 |
| 受付時間 | 8：15～9：15 |

- 発表用データは本学術集会で用意した PC にコピーします。
- ご持参のメディアはウィルスチェックならびに動作確認後、その場で返却いたします。
- 受付終了後は、修正できません。
- コピーしたデータは学術集会終了後、学術集会事務局で責任をもって削除いたします。

## 〈一般演題（ポスター）発表者の方へ〉

### 1）受付・掲示

- 発表者は参加受付を済ませたのち、8：30～9：00の間に、演題番号を表示したボードにポスターを掲示してください。
- 演題番号（20㎝×20㎝）と画鋲は事務局で用意します。
- 下記のボードのサイズをご参照の上、ポスター本文は縦140㎝×幅90㎝に収まるようにしてください。
- 本文とは別に、縦20㎝×幅70㎝に収まるように演題名・所属・演者名を記入したタイトルをご用意ください。
- ポスター撤去の時間は、16：00～16：30となります。撤去時間を過ぎた後も掲示をしているポスターにつきましては、学術集会事務局で処分させていただきますので、ご了承ください。



2)発表方法

- 発表は座長を置かない自由討議形式で行います。
- 発表者は指定の発表時間の間、ポスター前で待機し、参加者と質疑応答や意見交換を行ってください。

〈利益相反状態の開示について(口演・ポスター発表)〉

- 筆頭および共同演者全員の利益相反状態を開示してください。
- 口演の場合、2枚目の発表スライド(演題・演者等を紹介するスライドの次)に開示してください。ポスター発表ではポスターの最後に文章にて開示してください。
- 口演発表のスライド例

申告すべき利益相反状態がある時

第20回日本母性看護学会学術集会
**利 益 相 反 状 態 の 開 示**
演者名:○○ ○○,○○ ○○,○○ ○○,○○ ○○

今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| 役員・顧問職/寄附講座所属 | ○○製薬株式会社 |
| 講演料など | □□製薬株式会社 |
| 研究費/奨学寄付金 | 株式会社××ファーマ |

申告すべき利益相反状態がない時

第20回日本母性看護学会学術集会
**利 益 相 反 状 態 の 開 示**
演者名:○○ ○○,○○ ○○,○○ ○○,○○ ○○

今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反状態はありません。

■一般演題（口演）座長の方へ

- 学術集会2日目に来場されましたら南棟1階「講演・シンポジウム等演者・座長受付」までお立ち寄りください。
  また、担当発表演題群の開始10分前までに各会場の「次座長席」にご着席ください。
- 発表時間は一題につき、15分（発表10分、質疑応答5分）を予定しています。
- 担当の演題群の進行は座長に一任しますが、時間内に終了するようお願いいたします。
- 発表者の欠席が出た場合には、発表を繰り上げて進行してください。

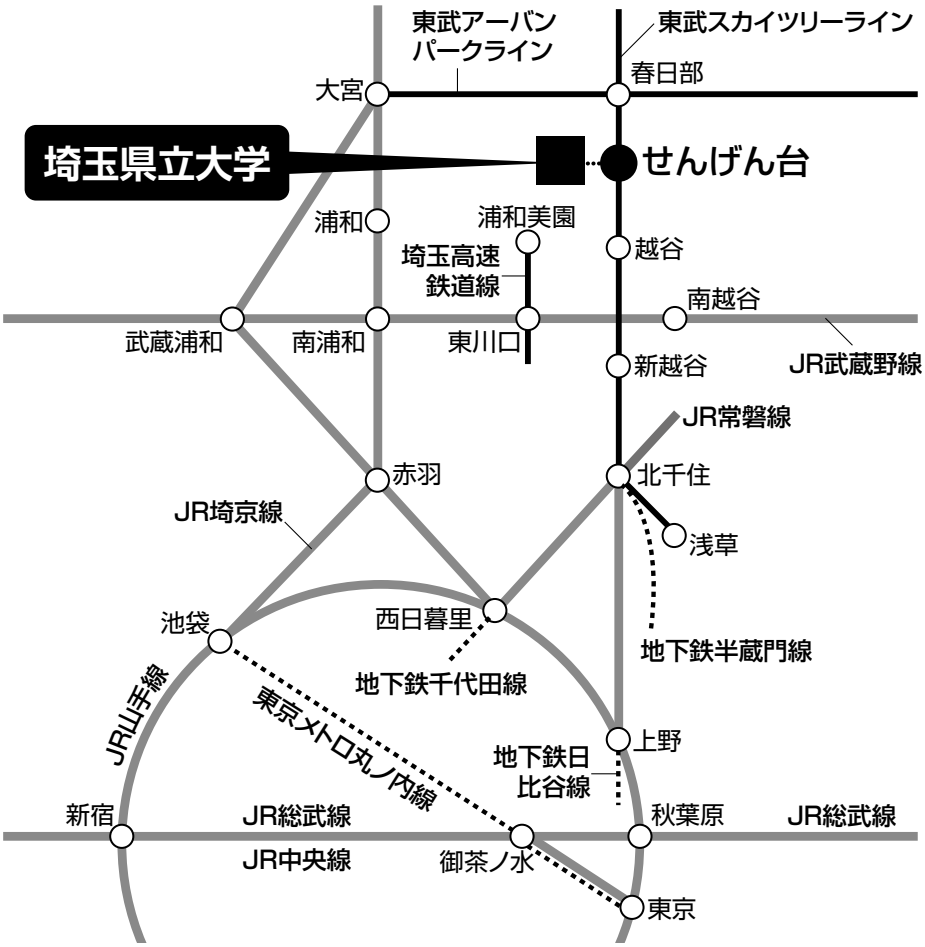
■講演・シンポジウム等の演者および座長・司会の方へ

- 来場されましたら、南棟1階「講演・シンポジウム等演者・座長受付」までお立ち寄りください。
- 受付終了後、係りの者が控室にご案内いたします。控室にて打合せをお願いいたします。
- 講演用スライドは『一般演題（口演）発表者の方へ』をご参照ください。
- 講演用にコピーしたデータは学術集会終了後、学術集会事務局で責任をもって削除いたします。
- 各講演・シンポジウムの進行は座長に一任しますが、時間内に終了するようお願いいたします。

# 交通アクセス

## ●埼玉県立大学までの路線図

東武スカイツリーライン せんげん台駅で下車

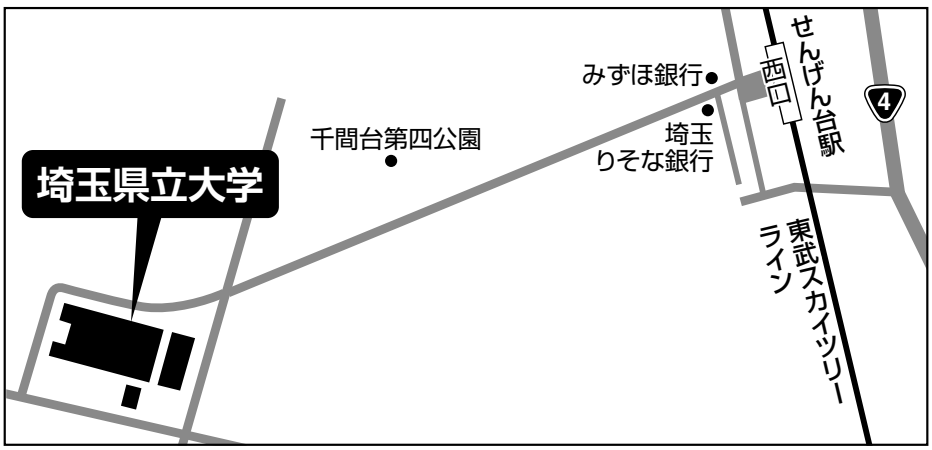



## ●せんげん台駅からのアクセス

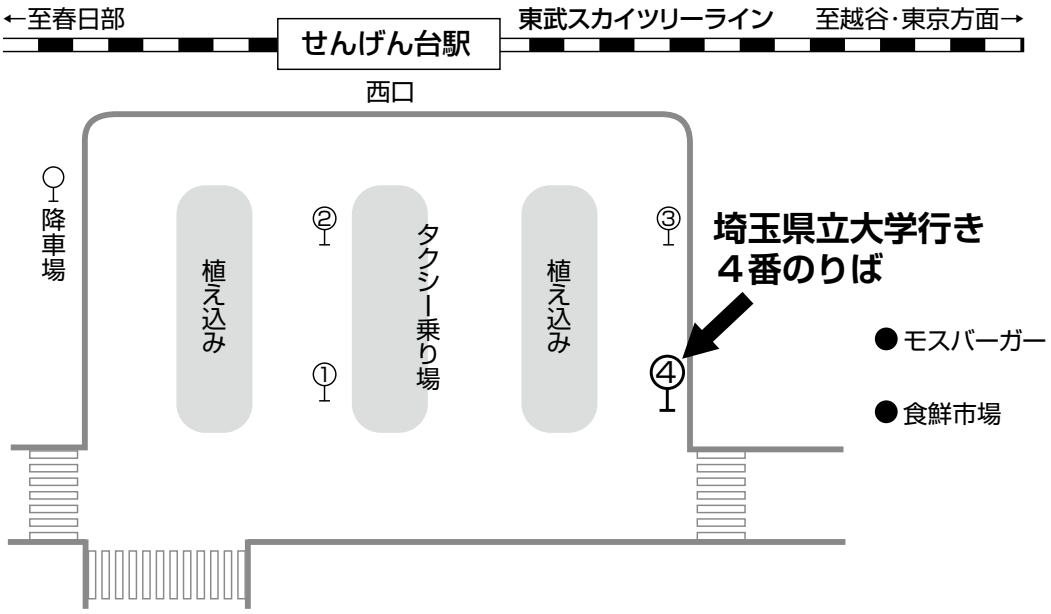
東武スカイツリーライン せんげん台駅 西口から

バス　　5分（片道料金：現金の場合180円、ICカードの場合175円）

徒歩　約20分



## ●バス乗り場




## バス時刻表（6月23日㈯・24日㈰）

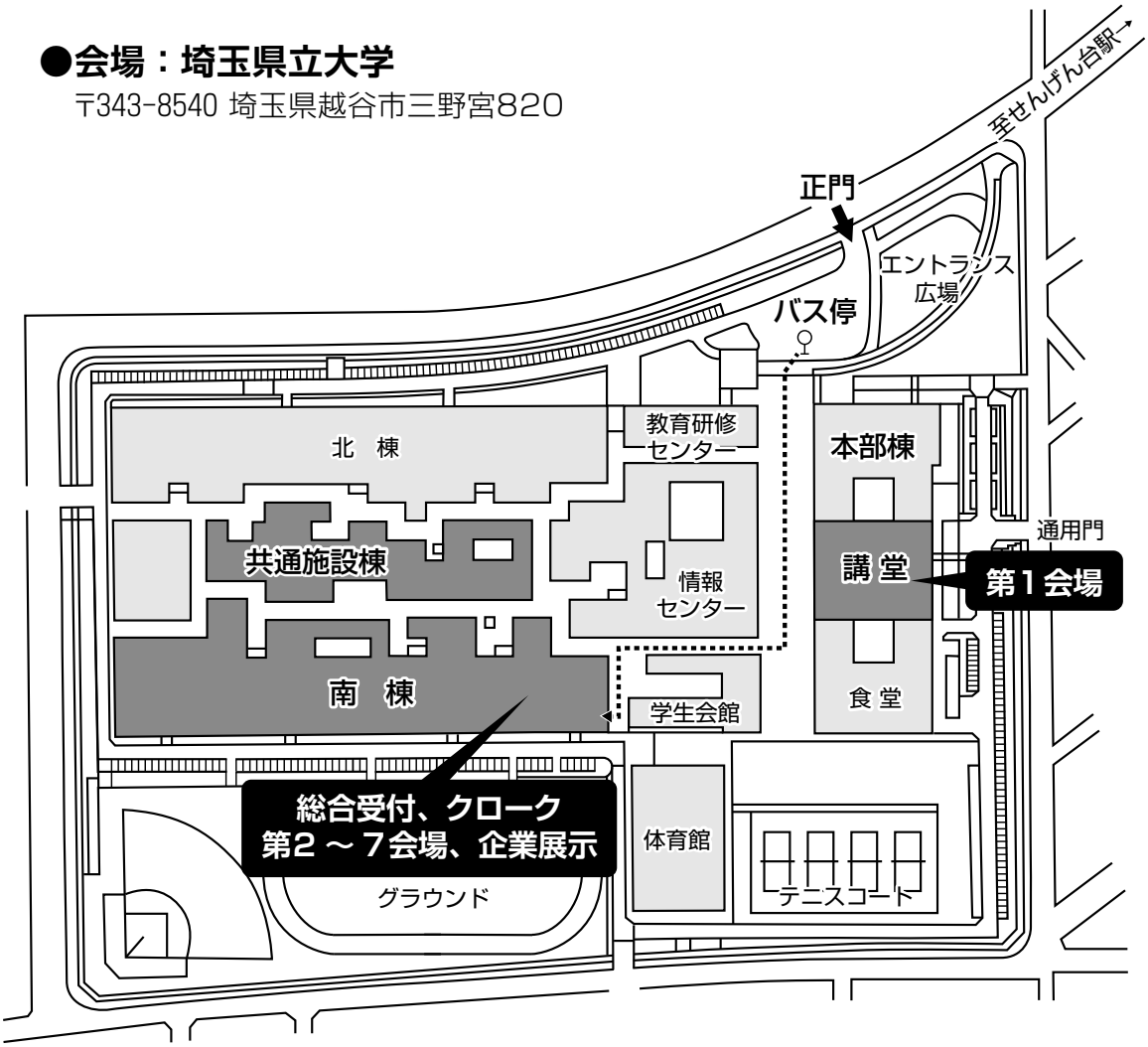
○の数字は23日の臨時便、□の数字は24日の臨時便です。

| | せんげん台駅 発<br>（県立大学ゆき） | 県立大学 発<br>（せんげん台駅ゆき） |
|---|---|---|
| 6 | 40　58 | 30　48 |
| 7 | 16　35　54 | 06　25　45 |
| 8 | 05　15　25　35　45　55 | 05　25　45 |
| 9 | 05　15　25　35　45　55 | 05　25　45　55 |
| 10 | 05　15　25　35　45 | 05　15　25　35　45　55 |
| 11 | 05　25　45　㊺ | 15　35　55 |
| 12 | 05　⑮　25　㉟　45　㊺ | 15　35　55 |
| 13 | 05　⑮　25　45 | 15　35　55 |
| 14 | 05　25　45 | 15　35　55 |
| 15 | 05　25　45 | 15　35　55 |
| 16 | 05　20　30　40　50 | 15　30　40　50 |
| 17 | 00　10　20　30　40　50 | 00　10　20　30　40　50 |
| 18 | 10　30　50 | 00　20　40 |
| 19 | 10　30　50 | 00　20　40 |
| 20 | 10　35 | 00　20　45 |
| 21 | 00 | 10 |

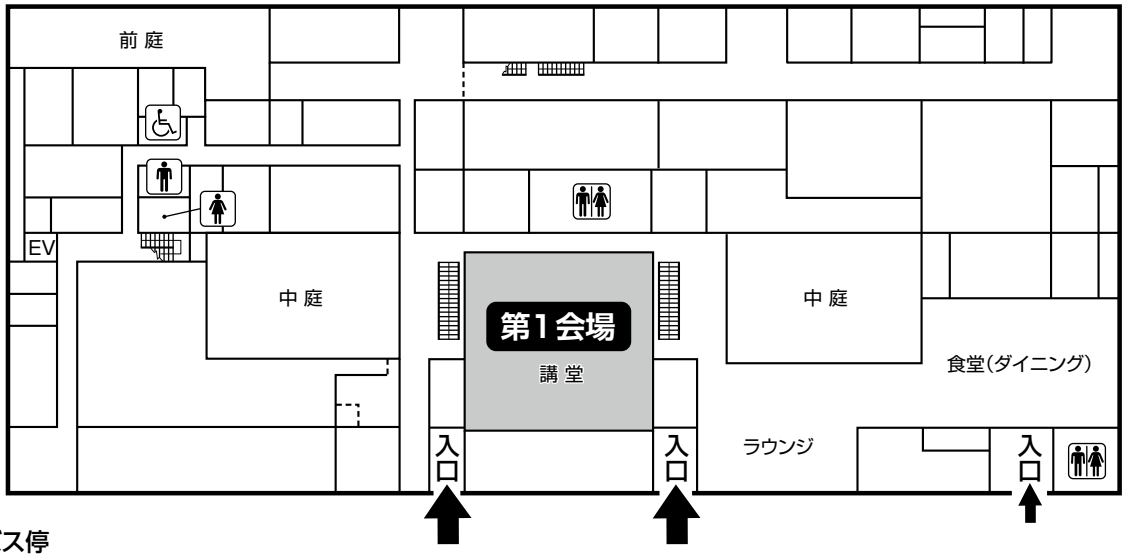
# 会　場　図

**●会場：埼玉県立大学**

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

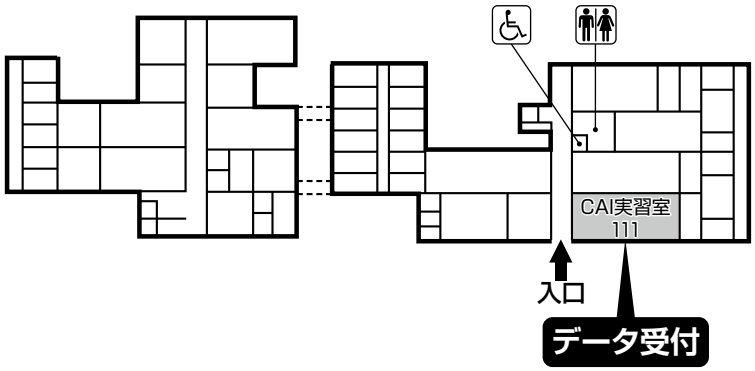



## 1F 本部棟

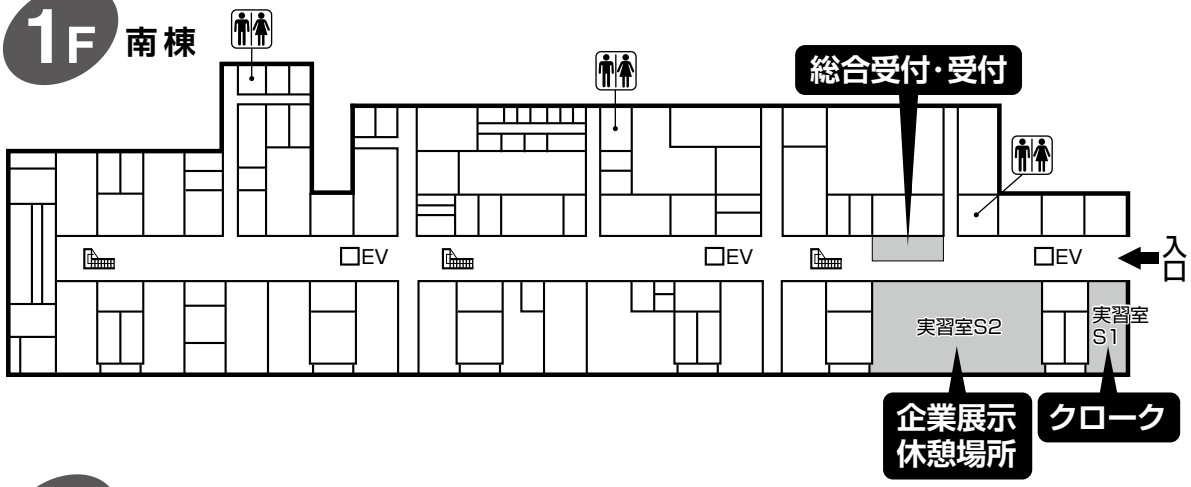



♀バス停

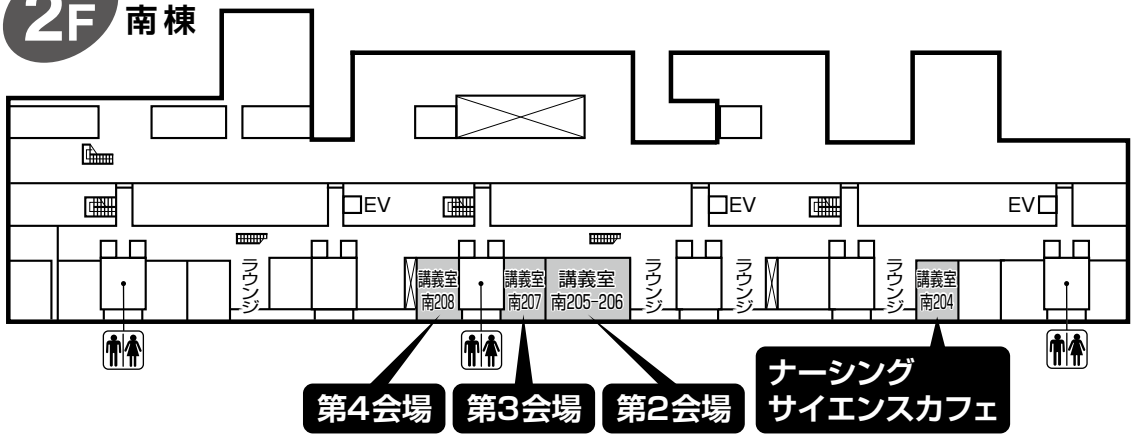
## 1F 共通施設棟



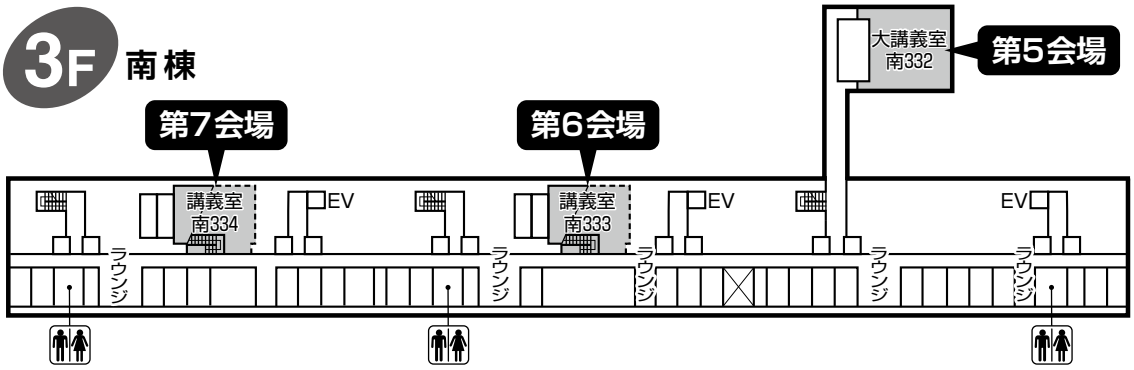

## 1F 南棟




## 2F 南棟




## 3F 南棟



# 日　程　表

## 6月23日(土)　受付 12：30～

| 第1会場<br>本部棟1F 講堂 | 第2会場<br>南棟2F 205･206 | 第3会場<br>南棟2F 207 | 第4会場<br>南棟2F 208 | 第5会場<br>南棟3F 332 | 第6会場<br>南棟3F 333 | 第7会場<br>南棟3F 334 | 企業展示<br>南棟1F 実習室S2 | ナーシングカフェ<br>南棟2F 204 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13:20～13:30<br>**開会式**<br>13:30～14:00<br>**会長講演**<br>**ウィメンズヘルスを支える多職種連携**<br>鈴木 幸子<br>埼玉県立大学 | | | | | | | | |
| 14:10～15:00<br>**20周年記念講演**<br>**リプロダクティブ・ヘルス&ライツと生殖補助医療の近未来**<br>菊地 盤<br>順天堂大学医学部附属浦安病院 | 14:10～15:10<br>**交流集会**<br>**母性看護専門看護師実践報告会** | | | | | | 14:00～16:00<br>**企業展示（ドリンクコーナー）** | |
| 15:10～17:10<br>**20周年記念シンポジウム**<br>**転換期に立つ母性看護学**<br>1 米国にみるウィメンズヘルス高度実践看護の活動と今後<br>2 我が国の母性看護専門看護師の活動と今後<br>3 女性向け健康管理サイト「ルナルナ」にみる女性の健康の近未来<br>4 母性看護学のこれからと本学会の役割 | | | | 15:20～17:10<br>CLoCMip®認証<br>**教育セミナー**<br>**周産期の糖代謝異常の考え方と対応**<br>成田 伸<br>自治医科大学 | 15:30～16:30<br>**市民公開講座**<br>**いつまでもいきいきと、美しく**<br>**－加齢に伴う、女性のケア－**<br>須永 康代<br>埼玉県立大学 | | | 15:30～16:30<br>**ナーシングサイエンスカフェ** |
| | | | | | | **助産師って楽しい！**<br>村井 佳美<br>埼玉協同病院<br>（助産師志望高校生対象） | | |

# 6月24日(日)　受付 8:15～

| | 第1会場<br>本部棟1F 講堂 | 第2会場<br>南棟2F 205･206 | 第3会場<br>南棟2F 207 | 第4会場<br>南棟2F 208 | 第5会場<br>南棟3F 332 | 第6会場<br>南棟3F 333 | 第7会場<br>南棟3F 334 | 企業展示<br>南棟1F 実習室S2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30 | | | | | | | | |
| 9:00 | 9:00～9:50<br>**教育講演1**<br>**生涯を通じた『女性のうつ』の予防と対応**<br>鈴木 利人<br>順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 | | 8:30～9:00<br>**ポスター貼付** | | | 9:00～11:00<br>**シンポジウム1**<br>**思春期・青年期のウィメンズヘルス** | | 9:00～15:00<br>**企業展示（ドリンクコーナー）** |
| | | | 9:30～10:10<br>**ポスターP1** | | | | 9:30～10:30<br>**口演O1**<br>**育児支援の実践等** | |
| 10:00 | 10:00～10:50<br>**教育講演2**<br>**虐待予防の取り組み**<br>**-子どもシェルターを開設して-**<br>大倉 浩<br>特定非営利活動法人子どもセンター・ピッピ | | **看護職･教育** | 10:10～10:50<br>**ポスターP2** | | | 10:30～11:30<br>**口演O2**<br>**ハイリスク妊産婦支援の実践等** | |
| 11:00 | 11:00～12:00<br>**特別講演**<br>**つながる**<br>**コミュニケーションスキル**<br>三遊亭楽生<br>落語家 | | | **育児支援** | **S1-1** 学校保健の取り組みから<br>**S1-2** 大学生から大学生に伝える「性交の同意」についてのパンフレット作製を通した多職種連携<br>**S1-3** 思春期・青年期女性が一生を元気に楽しく過ごすため出張開業助産師ができる事<br>**S1-4** 婦人科見学ツアー前後での女子大学生と医療者の認識の変化 | | | |
| 12:00 | | 12:10～13:00<br>**共催ランチョンセミナー1**<br>共催：MSD㈱ | | | 12:10～13:00<br>**共催ランチョンセミナー2**<br>共催：コニカミノルタ㈱/旭化成メディカル㈱ | 12:10～13:00<br>**ランチタイムセミナー1**<br>照井 克生<br>埼玉医科大学総合医療センター | 12:10～13:00<br>**ランチタイムセミナー2**<br>姜 恩和<br>埼玉県立大学 | |
| 13:00 | 13:10～14:10<br>**総　会** | **子宮頸がんとHPVワクチンの現況**<br>**～子宮頸がん患者を診てきた産婦人科医の立場から～**<br>近藤 一成<br>NTT東日本関東病院 | | | **新生児黄疸と経皮ビリルビン測定**<br>伊藤 進<br>香川大学 | **助産師が知っておくべき麻酔分娩について** | **妊娠に悩む女性の支援**<br>**-妊娠SOS相談窓口の活動-** | |
| 14:00 | 14:20～16:20<br>**シンポジウム2**<br>**妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援**<br>**S2-1** 産科施設における産後ケアの提供 ～院内で取り組む産後ケアの実際と課題について～<br>**S2-2** 公設公営の助産院におけるネウボラ機能<br>**S2-3** 行政からの委託事業・民設民営としての子育て包括支援センターへの取組について<br>**S2-4** ネウボラから産後ケアー切れ目ない支援へ | | 14:20～15:00<br>**ポスターP3** | | | 14:20～15:20<br>**教育講演3**<br>山本 綾子<br>甲南女子大学 | 14:20～15:20<br>**口演O3**<br>**育児支援等** | |
| 15:00 | | **リプロダクティブヘルス** | | 15:00～15:40<br>**ポスターP4** | | **快適な生活のためにからだを鍛える**<br>**～骨盤底筋、姿勢、バランス～** | 15:20～16:20<br>**口演O4**<br>**ハイリスク妊産婦支援** | |
| 16:00 | 16:20～ **閉会式** | | 16:00～16:30<br>**ポスター撤去** | **妊娠、父親** | | | | |

# プログラム（講演・シンポジウム等）

## 6月23日（土）

13：20～　**開 会 式**　第1会場（本部棟 1F 講堂）

開催校挨拶：田中 滋（埼玉県立大学 理事長）

13：30～14：00　**会長講演**　第1会場（本部棟 1F 講堂）

座長：大平 光子（広島大学大学院医歯薬保健学研究科）

### ウィメンズヘルスを支える多職種連携

鈴木 幸子（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科）

14：10～15：00　**20周年記念講演**　第1会場（本部棟 1F 講堂）

座長：森 恵美（千葉大学大学院看護学研究科）

### リプロダクティブ・ヘルス＆ライツと生殖補助医療の近未来

菊地 盤（順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 リプロダクションセンター）

14：10～15：10　**交流集会**　第2会場（南棟 2F 205-206）

座長：松原 まなみ（日本母性看護学会 専門看護師委員）

### 母性看護専門看護師実践報告会

報告者：佐藤 陽子（昭和大学病院、母性看護専門看護師）
上澤 悦子（京都橘大学 看護学部）
立松 あき（名古屋第二赤十字病院、母性看護専門看護師）
吉森 容子（社会福祉法人恩賜財団済生会支部新潟県済生会三条病院、母性看護専門看護師）
深澤 友子（群馬大学 医学部 保健学科、母性看護専門看護師）

15：10～17：10　**20周年記念シンポジウム**　第1会場（本部棟 1F 講堂）

座長：髙橋 眞理（順天堂大学大学院医療看護学研究科）
山本 あい子（四天王寺大学看護学部準備室）

### 転換期に立つ母性看護学

**1** 米国にみるウィメンズヘルス高度実践看護の活動と今後

儀宝 由希子（Division of Adolescent and Young Adult Medicine Children's Hospital of Pittsburgh of UPMC, Women's Health Nurse Practitioner）

**2** 我が国の母性看護専門看護師の活動と今後

長坂 桂子（NTT 東日本関東病院 母性看護専門看護師）

**3** 女性向け健康管理サイト「ルナルナ」にみる女性の健康の近未来

日根 麻綾（株式会社エムティーアイ ヘルスケア事業本部 ルナルナ事業部 事業部長）

**4** 母性看護学のこれからと本学会の役割

鈴木 幸子（日本母性看護学会 理事長、埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科）

15：20～17：10 **教育セミナー（CLoCMip®認証）** 第5会場（南棟 3F 332）

座長：松井 弘美（富山大学大学院医学薬学研究部）

## 周産期の糖代謝異常の考え方と対応

成田 伸（自治医科大学 看護学部）

15：30～16：30 **市民公開講座** 第6会場（南棟 3F 333）

座長：萱場 一則（埼玉県立大学）

## いつまでもいきいきと、美しく
## ～加齢に伴う、女性のケア～

須永 康代（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科）

15：30～16：30 **ナーシングサイエンスカフェ（高校生対象）** （南棟 2F 204）

座長：齋藤 いずみ（神戸大学大学院）

## 助産師って楽しい！

村井 佳美（医療生協さいたま 埼玉協同病院）

## 6月24日(日)

9:00～9:50　**教育講演1**　　第1会場(本部棟 1F 講堂)

座長：吉沢 豊予子(東北大学大学院医学系研究科)

### 生涯を通じた『女性のうつ』の予防と対応

鈴木 利人(順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 メンタルクリニック)

9:00～11:00　**シンポジウム1**　　第6会場(南棟 3F 333)

座長：小堀 宏之(メディカルトピア草加病院)
定方 美恵子(新潟大学大学院保健学研究科)

### 思春期・青年期のウィメンズヘルス

#### S1-1　学校保健の取り組みから

上原 美子(埼玉県立大学 保健医療福祉学部 共通教育科)

#### S1-2　大学生から大学生に伝える「性交の同意」についてのパンフレット作製を通した多職種連携

高橋 幸子(埼玉医科大学 医療人育成支援センター地域医学推進センター、社会医学、産婦人科)

#### S1-3　思春期・青年期女性が一生を元気に楽しく過ごすため出張開業助産師ができる事

櫻井 裕子(出張開業助産師)

#### S1-4　婦人科見学ツアー前後での女子大学生と医療者の認識の変化

土井 希実[1)2)]、市石 遼[1)3)]
1)埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科16期生、2)福山平成大学 助産学専攻科、
3)東邦大学医療センター大森病院 新生児集中治療室

10:00～10:50　**教育講演2**　　第1会場(本部棟 1F 講堂)

座長：田口 眞弓(一般社団法人埼玉県助産師会)

### 虐待予防の取り組み
### ―子どもシェルターを開設して―

大倉 浩(弁護士、子どもセンター・ピッピ)

11：00～12：00　**特別講演**　　第1会場（本部棟 1F 講堂）

座長：町浦 美智子（武庫川女子大学看護学部）

## つながる
## コミュニケーションスキル

三遊亭 楽生（落語家）

12：10～13：00　**共催ランチョンセミナー1**　　第2会場（南棟 2F 205-206）

座長：工藤 里香（京都橘大学看護学部）

## 子宮頸がんと HPV ワクチンの現況
## ～子宮頸がん患者を診てきた産婦人科医の立場から～

近藤 一成（NTT 東日本関東病院）

共催：MSD 株式会社

12：10～13：00　**共催ランチョンセミナー2**　　第5会場（南棟 3F 332）

座長：佐々木 綾子（大阪医科大学大学院看護学研究科）

## 新生児黄疸と経皮ビリルビン測定

伊藤 進（香川大学 医学部 小児科 名誉教授）

共催：コニカミノルタ株式会社／旭化成メディカル株式会社

12：10～13：00　**ランチタイムセミナー1**　　第6会場（南棟 3F 333）

座長：島袋 香子（北里大学看護学部）

## 助産師が知っておくべき麻酔分娩について

照井 克生（埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科）

12：10～13：00　**ランチタイムセミナー2**　　第7会場（南棟 3F 334）

座長：坂上 明子（武蔵野大学看護学部）

## 妊娠に悩む女性の支援 ―妊娠 SOS 相談窓口の活動

姜 恩和（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科）

13：10～14：10　**総　会**　　第1会場（本部棟 1F 講堂）

14：20～16：20　**シンポジウム2**　　第1会場（本部棟 1F 講堂）

座長：石井 邦子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）
星野 恵子（公益社団法人埼玉県看護協会）

## 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援

### S2-1　産科施設における産後ケアの提供 ～院内で取り組む産後ケアの実際と課題について～

山田 千恵（つくばセントラル病院）

### S2-2　公設公営の助産院におけるネウボラ機能

菊池 幸枝（遠野市 子育て応援部 母子安心課 遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」）

### S2-3　行政からの委託事業・民設民営としての子育て包括支援センターへの取組について

伊東 優子（わこう助産院）

### S2-4　ネウボラから産後ケア ―切れ目ない支援へ

福島 富士子（東邦大学 看護学部 家族・生殖看護学領域）

14：20～15：20　**教育講演3**　　第6会場（南棟 3F 333）

座長：原 和彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科）

## 快適な生活のためにからだを鍛える ～骨盤底筋、姿勢、バランス～

山本 綾子（甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科）

16：20～　**閉 会 式**

# プログラム（口演発表）

## 6月24日（日）

9：30～10：30　**口演1　［ 育児支援の実践等 ］**　第7会場（南棟 3F 334）

座長：三澤 寿美（東北福祉大学健康科学部保健看護学科）

### O1-1　児を受け入れられない母親の育児支援を考える 産婦人科病棟における「患者の権利」とは

○石川 幸恵
医療生協さいたま 埼玉協同病院

### O1-2　地域保健師との連携を組織化・標準化に向けた母性看護専門看護師の 意図的なスタッフ育成

○金 英仙[1)]、三田村 七福子[2)]
1）医療法人竹村医学研究会 小阪産病院、2）社会医療法人誠光会 草津総合病院

### O1-3　カップ授乳に対する看護スタッフの意識調査　～積極的な実践を阻む因子の考察～

○竹田 由樹江、柳澤 美香
医療法人社団愛友会 千葉愛友会記念病院

### O1-4　デジタル教材を活用した母性看護教育： 特に、新生児のバイタルサインを含む生理機能の理解を深めるために

○早川 有子、中島 久美子、臼井 淳美、廣瀬 文乃
群馬パース大学 保健科学部 看護学科

10：30～11：30　**口演2　［ ハイリスク妊産婦支援の実践等 ］**　第7会場（南棟 3F 334）

座長：齋藤 英子（日本赤十字看護大学看護学部）

### O2-1　保育器に収容され母子分離状態となった新生児の母乳栄養率 ～母乳栄養確立に向けてのケアの振り返り～

○篠﨑 紗由美、山田 千恵
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院

### O2-2　ハイリスク妊産褥婦の継続支援を目的とした専門看護外来で 母性看護専門看護師が行う実践に関する報告

○松浦 和枝、高尾 恭子、浅田 祥子
淀川キリスト教病院

### O2-3　助産師による妊娠糖尿病妊産婦に対する多職種支援を活かした継続支援のあり方

○竹村 民千佳[1)2)]、服部 律子[2)]
1）前 岐阜大学医学部附属病院、2）岐阜県立看護大学

### O2-4　初めて妊娠糖尿病と診断された女性の診断時から産褥早期までの現象学的体験の構造

○豊岡 望穂子
国立大学法人 富山大学附属病院

## 14：20～15：20　口演3　［ 育児支援等 ］　第7会場（南棟 3F 334）

座長：角川 志穂（自治医科大学看護学部）

### O3-1　第1子の誕生を期待する男性の妊娠期における肯定的な体験 ―国内外の文献より―

○上池 梨紗[1)]、中村 康香[2)]、武石 陽子[2)]、跡上 富美[3)]、吉沢 豊予子[2)]

1）東北大学 医学部 保健学科、2）東北大学大学院 医学系研究科、3）久留米大学 医学部 看護学科

### O3-2　家庭で行われる新生児期および乳児期の沐浴・入浴についての初産婦・経産婦の困りごとに関する調査研究

○近澤 幸、佐々木 綾子

大阪医科大学 看護学部

### O3-3　産後1か月における母親のソーシャル・キャピタルと育児幸福感の関連要因

○中村 登志子

帝京大学 福岡医療技術学部

### O3-4　産後ケア利用希望者の産後うつ傾向と産後ケアに関する需要の実態

○須永 由華[1)]、小林 和花子[1)]、妻由 晃枝[2)]、高野 和江[1)]

1）国際医療福祉大学病院、2）国際医療福祉大学

## 15：20～16：20　口演4　［ ハイリスク妊産婦支援 ］　第7会場（南棟 3F 334）

座長：中村 康香（東北大学大学院医学系研究科）

### O4-1　死産を経験した父親がその子どもに会うことの意味

○十河 由紀

社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院

### O4-2　地域周産期母子医療センターにおける産後ケアの現状と課題について

○山田 智子、丸杉 伊世梨、庄司 光希、山本 かおり

順天堂大学医学部附属浦安病院

### O4-3　母体・胎児集中治療室（MFICU）入院中の切迫早産妊婦への看護の実際と妊婦による評価

○野中 悠[1)]、兼宗 美幸[2)]、大月 恵理子[2)]

1）埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門、
2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

### O4-4　後期早産児出産後の初産婦における母親役割獲得過程

○木村 佳代子[1)]、森 恵美[1)]、坂上 明子[2)]

1）千葉大学大学院 看護学研究科、2）武蔵野大学 看護学部

# プログラム（ポスター発表）

## 6月24日（日）

9：30～10：10　**ポスター1　［ 看護職・教育 ］**　第3会場（南棟 2F 207）

### P1-1　周産期心筋症を発症した母親に対する産褥期の看護 ―多職種連携と母性看護専門看護師の役割―

○高田 鼓
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

### P1-2　産後の養育について特に支援が必要な妊産婦を対象とした助産師の地域連携への困難感尺度

○三浦 真依[1)]、鈴木 幸子[2)]、関 美雪[2)]
1）元 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科、2）埼玉県立大学

### P1-3　A 大学病院の周産期診療部に所属する看護職が困難と感じる倫理的問題

○安田 美緒[1)]、吾妻 知美[2)]
1）京都府立医科大学附属病院、2）京都府立医科大学大学院 保健看護学研究科

### P1-4　産科混合病棟における他科患者の死亡時の看護と病棟全体への影響 看護管理の視点からの考察

○齋藤 いずみ[1)]、佐藤 純子[2)]、寺岡 歩[3)]、中井 かをり[3)]
1）神戸大学大学院 保健学研究科 看護学領域、2）王子総合病院、
3）神戸大学大学院 博士後期課程 看護学領域

### P1-5　ラオスの産後における伝統的プラクティスに対する日本の産科医療施設の対応

○齋藤 恵子[1)]、鈴木 幸子[2)]
1）埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部

### P1-6　看護中間管理者による妊娠・育児期にある助産師のワーク・ライフ・バランス支援の現状と課題の認識

○濱田 愛理[1)]、兼宗 美幸[2)]
1）日本赤十字社医療センター、2）埼玉県立大学

### P1-7　医療系以外の学生（一般学生）と看護学生に対する出生前診断の認識の比較

○川越 玲奈、富安 俊子
兵庫大学 看護学部

### P1-8　分娩介助演習における模擬産婦による双方向性フィードバックが学生の気づきを促す効果

○森 美紀[1)]、鈴木 幸子[1)]、石井 邦子[2)]、青柳 優子[3)]、山本 英子[1)]、北川 良子[2)]、
川城 由紀子[2)]、東原 亜希子[1)]、植竹 貴子[3)]、妻倉 恵[2)]
1）埼玉県立大学、2）千葉県立保健医療大学、3）順天堂大学

### P1-9　母性看護実習における男子学生の肯定的な経験

○藤邉 祐子、坂本 保子、髙橋 雪子
八戸学院大学 健康医療学部 看護学科

## P1-10 看護学生が抱く「母性」に対するイメージの変化 ―講義前後の自由記述分析から―

○篠原 良子
三育学院大学 看護学部

## P1-11 母性看護学主題実習における学生の学びの要素

○橋本 富子、外村 晴美
森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科

10：10～10：50 **ポスター2 ［ 育児支援 ］** 第4会場（南棟 2F 208）

## P2-1 産後1ヶ月健康診査時における褥婦の骨盤輪支持の継続状況とマイナートラブルの実態

○大橋 桃子、安食 夕美子、伊藤めぐみ
島根県立中央病院

## P2-2 産褥10日以内の抑うつ状態を高めている要因

○濱口 奈都希、中山 佳奈、藤田 織江
川口市立医療センター

## P2-3 ふたりの子どもを育てる母親の妊娠期のイメージとそのギャップおよびギャップに対する受け止め

○石岡 沙有理[1)]、森田 亜希子[2)]
1）草加市立病院、2）埼玉県立大学

## P2-4 妊産婦のソーシャルサポートを高める看護

○亀谷 日菜子[1)]、山本 英子[2)]
1）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 16期生、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

## P2-5 就業継続を望む女性が抱く産後の不安

○永田 智子[1)2)]、髙橋 眞理[3)]
1）順天堂大学大学院 医療看護学研究科 博士後期課程、2）横浜創英大学 看護学部、
3）順天堂大学大学院 医療看護学研究科

## P2-6 中山間地域で助産師が行う育児支援活動の現状と課題

○坂本 めぐみ[1)]、兼宗 美幸[2)]
1）防衛医科大学校 医学教育部 看護学科、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

## P2-7 初産婦の産後1か月間におけるソーシャルメディア利用体験

○山田 博美[1)]、森 恵美[2)]、坂上 明子[3)]
1）元 千葉大学大学院 看護学研究科、2）千葉大学大学院 看護学研究科、3）武蔵野大学 看護学部

## P2-8 インターネットリサーチによる授乳時の携帯電話等使用に関する調査～使用実態について～

○井上 千晶[1)]、大平 光子[2)]、橋本 由里[1)]
1）島根県立大学 看護栄養学部、2）広島大学大学院 医歯薬保健学研究科

**P2-9** 母親の食行動と初乳中のうま味物質との関連　～グルタミン酸に焦点を当てて～

○和多田 抄子[1)]、立岡 弓子[1)]、宮口 由美子[2)]

1）国立大学法人 滋賀医科大学 医学部 看護学科、2）医療法人智林会 山田産婦人科

**P2-10** 新生児清拭用ベイスンの湯を適温に維持・管理するための用具の検証

○近澤 幸、竹 明美、佐々木 綾子

大阪医科大学 看護学部

14：20～15：00　**ポスター3**［ リプロダクティブヘルス ］　第3会場（南棟 2F 207）

**P3-1** 「婦人科見学ツアー報告会」前後での医療系女子大学生の受診に対する自己効力感の変化

○土井 希実[1)]、兼宗 美幸[2)]

1）福山平成大学 助産学専攻科、2）埼玉県立大学

**P3-2** 看護系女子大学生における PMS（月経前症候群）
―認知度・PMS だと自覚したきっかけ及び潜在患者の実態―

○鈴木 秋穂[1)]、齋藤 恵子[2)]

1）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 16期生、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部

**P3-3** 女子大学生における乳がんへの関心の実態調査　―看護学生と一般学生の比較―

○久保田 成美[1)]、富安 俊子[2)]

1）静岡県立がんセンター、2）兵庫大学 健康科学部 看護学科

**P3-4** 恋愛観と結婚観をめぐる大学生の意識調査

○久保田 隆子

高崎健康福祉大学大学院 助産学分野

**P3-5** 月経血コントロールによる月経観、月経随伴症状への影響

○明野 華奈[1)]、増田 美恵子[2)]

1）順天堂大学医学部附属順天堂医院、2）順天堂大学 医療看護学部

**P3-6** 腹式単純子宮全摘術を受けた患者のアイデンティティに影響する要因

○黒澤 紀子、神崎 美佐、関村 妙子、蜂谷 享子、小山 晴洋、海老原 淳子

春日部市立医療センター

**P3-7** 小児期発症の1型糖尿病女性が経験する月経周期に伴うセルフケアに関する文献検討

○宇田川 直子、渡邊 香織、古山 美穂、中嶋 有加里

大阪府立大学大学院 看護学研究科

**P3-8** 産婦人科受診に対する抵抗感　セクシャルマイノリティ女性の場合

○吉田 安子[1)]、大久保 美保[2)]

1）神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部、2）玉川レディースクリニック

## P3-9　キャリア後期にある女性看護師の職務継続の要因とヘルスプロモーション行動

○兼宗 美幸[1)]、坂本 めぐみ[2)]
1）埼玉県立大学 保健医療福祉学部、2）防衛医科大学校 医学教育部 看護学科

15：00～15：40　**ポスター4 ［ 妊娠、父親 ］**　第4会場（南棟 2F 208）

## P4-1　高年初産婦の産後4か月における子育て生活体験

○森 恵美[1)]、前原 邦江[1)]、岩田 裕子[1)]、坂上 明子[2)]
1）千葉大学大学院 看護学研究科、2）武蔵野大学 看護学部

## P4-2　妊娠中の体重管理と異常分娩、BMI、国籍の関連性

○天川 孝映
蕨市立病院

## P4-3　児のダウン症の確定診断を待つ母親が、入院中に捉えた看護職の関わり

○本石 莉子[1)]、大月 恵理子[2)]
1）川口市立医療センター、2）埼玉県立大学

## P4-4　出生後早期から母児分離となった母親の退院から児の退院までの生活の実態についての文献検討

○下越 あやか
さいたま赤十字病院

## P4-5　妊娠先行結婚をした妻が妊娠期に感じる困難と夫へ求めるサポート

○小松 梨紗[1)]、森田 亜希子[2)]
1）北里大学メディカルセンター、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

## P4-6　父親役割獲得を促す出生前看護介入プログラムの開発 ―初めて親となる男性のための Paternity Portfolio の開発―

○森田 亜希子[1)]、森 恵美[2)]、坂上 明子[3)]
1）埼玉県立大学、2）千葉大学大学院 看護学研究科、3）武蔵野大学 看護学部

## P4-7　夫の育児行動を促すための妻の関わり方の検討

○横井 麻乃[1)]、大月 恵理子[2)]
1）葛飾赤十字産院、2）埼玉県立大学

## P4-8　妻が里帰り出産をした夫の妊娠期から産褥期における妻やわが子への思い

○山口 実優[1)]、山本 英子[2)]
1）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 16期生、2）埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科

## P4-9　1歳未満の子どもをもつ共働き世帯の父親の抑うつ状態に関連する要因

○福島 紗世[1)]、藤本 紗央里[2)]、小澤 未緒[2)]、舩場 友木[2)]、大平 光子[2)]
1）元 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科、2）広島大学大学院 医歯薬保健学研究科

# 20周年記念企画

## 20周年記念講演

## 20周年記念シンポジウム

# リプロダクティブ・ヘルス＆ライツと生殖補助医療の近未来

菊地 盤
順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科
リプロダクションセンター

「リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ」という言葉があります。文字通り「性と生殖に関する健康・権利」と訳されますが、男女問わず人々が安全で満ち足りた性生活を営むことができ、生殖能力を持ち、子どもを持つか持たないか、いつ持つか、何人持つかを自由に決める権利は人権のひとつであることを意味しています。この権利は様々な理由で侵害されることがありますが、その一つががんなどに対する化学療法や放射線治療などの副作用による造精機能、卵巣機能障害であり、将来の妊娠の可能性を残すための方法として男性であれば精子凍結保存、女性であれば卵子・卵巣凍結保存が考えられ、近年、「がん生殖医療」として注目されています。もちろん、100％の妊娠が期待できるわけではありませんが、妊娠の可能性が希望となり、辛い治療に立ち向かう力になることも事実です。昨年7月には癌治療学会から妊孕性温存に関する診療ガイドラインが発刊され、若年・小児のがん患者さんが癌治療を受ける際、可能であれば妊孕性温存を説明することが推奨されるようになってきました。一方、本邦では2015年に生まれた児の約20児に1人が体外受精で生まれているとされ、我が国は「不妊大国」とも言われております。その一つの原因は晩婚・晩産化であり、女性においては加齢による「卵子老化」が一つの要因とされております。もちろん、男女問わず妊孕性は低下するのですが、女性の「卵子老化」に対して前述の卵子凍結保存を行うことを考える方々も出てきており、前述がんなどによる「医原性卵子凍結」に対し、「社会性卵子凍結」と呼ばれております。この方法について海外では会社の保険が使えるようなニュースも伝え聞こえておりますが、特に国内の学会においては推奨されておりません。我々は、浦安市との寄付講座で市内対象にどのような方々が社会性卵子凍結を希望するかを調査する研究を行いましたが、その結果から見えてきたことは、卵子凍結を希望する女性の背景は複雑だということと、医原性と社会性の線引きの難しさと結婚や妊娠、子育てが決して容易ではない我が国の現況でした。先進国である我が国において、決してリプロダクティブ・ヘルス＆ライツが決して守られているとは言えないのではないかとも感じたのです。それらの結果も含め、リプロダクティブ・ヘルス＆ライツと卵子凍結について、お話させていただきたいと思います。

# 査 読 者

本学会の一般演題は、次の方々に査読をしていただきました。
心より感謝申し上げます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 青柳 優子 | 跡上 富美 | 新井 陽子 | 井田 歩美 | 今井 充子 |
| 岩田 裕子 | 大賀 明子 | 大月 恵理子 | 岡田 公江 | 岡山 久代 |
| 尾関 久子 | 加城 貴美子 | 加藤 千晶 | 兼宗 美幸 | 河内 浩美 |
| 川城 由紀子 | 川村 紀子 | 北川 良子 | 杵淵 恵美子 | 工藤 美子 |
| 工藤 里香 | 國清 恭子 | 齋藤 明香 | 齋藤 英子 | 齋藤 恵子 |
| 坂上 明子 | 坂梨 薫 | 坂本 めぐみ | 佐々木 くみ子 | 佐々木 裕子 |
| 佐藤 ひさ代 | 島袋 香子 | 清水 嘉子 | 鈴木 幸子 | 角川 志穂 |
| 高島 えり子 | 田辺 けい子 | 常盤 洋子 | 中込 さと子 | 中村 康香 |
| 行田 智子 | 成田 伸 | 西村 明子 | 野々山 未希子 | 長谷川 ともみ |
| 服部 律子 | 林 ひろみ | 東原 亜希子 | 福山 智子 | 増田 美恵子 |
| 松井 弘美 | 三澤 寿美 | 森 美紀 | 森越 美香 | 山口 典子 |
| 山﨑 圭子 | 山本 英子 | 吉田 安子 | 渡邊 香織 | 和智 志げみ |

（五十音順・敬称略）

# 企画・実行委員一覧

学術集会 会長　鈴木 幸子　埼玉県立大学

【企画・実行委員】

| | | |
|---|---|---|
| 委 員 長 | 鈴木 幸子 | 埼玉県立大学 |
| 事務局長 | 大月 恵理子 | 埼玉県立大学 |
| | 兼宗 美幸 | 埼玉県立大学 |
| | 齋藤 恵子 | 埼玉県立大学 |
| | 森田 亜希子 | 埼玉県立大学 |
| | 山本 英子 | 埼玉県立大学 |
| | 及川 裕子 | 目白大学 |
| | 大賀 明子 | 西武文理大学 |
| | 今井 充子 | 日本保健医療大学 |
| | 田口 眞弓 | 埼玉県助産師会<br>助産院もりあね |
| | 日野 暁子 | 埼玉県看護協会<br>越谷市立病院 |
| | 青木 恭子 | 埼玉県立大学 |
| | 浅井 宏美 | 埼玉県立大学 |
| | 千葉 真希子 | 埼玉県立大学 |
| | 東原 亜希子 | 埼玉県立大学 |
| | 森 美紀 | 埼玉県立大学 |

【実行委員】

| | |
|---|---|
| 畔上 光代 | 埼玉県立大学 |
| 阿部 大輔 | 寄居町保健福祉総合センター |
| 新井 麻紀子 | 埼玉県立大学 |
| 石岡 沙有理 | 草加市立病院 |
| 上西 由美 | 上尾看護専門学校 |
| 海老原 淳子 | 春日部市立医療センター |
| 大滝 千智 | 自治医科大学 さいたま医療センター |
| 岡津 愛子 | 聖路加国際大学大学院 博士後期課程 |
| 小野 仁美 | 日本保健医療大学 |
| 亀谷 日菜子 | 戸田中央産院 |
| 北島 裕子 | 埼玉県立大学 |
| 小松 梨沙 | 北里大学メディカルセンター |
| 小山 晴洋 | 春日部市立医療センター |
| 齋藤 明香 | 元 埼玉県立大学 |
| 齋藤 未希 | 越谷市立病院 |
| 坂田 麻実 | 越谷市立病院 |
| 櫻井 育穂 | 埼玉県立大学 |
| 櫻沢 亜希子 | 三芳町保健センター |
| 佐藤 麻衣 | 獨協医科大学埼玉医療センター |
| 椎谷 由実 | 愛和病院 |
| 鈴木 秋穂 | 深谷赤十字病院 |
| 高橋 綾 | 埼玉県立大学 |
| 辻本 健 | 埼玉県立大学 |
| 手島 幸代 | 獨協医科大学埼玉医療センター |
| 藤間 達之 | 埼玉県立大学 事務局 |
| 中島 唯 | 東京北医療センター |
| 野中 悠 | 埼玉医科大学総合医療センター |
| 野本 友里 | 戸田中央産院 |
| 濱田 愛理 | 日本赤十字社医療センター |
| 早坂 玉緒 | 埼玉県立大学 |
| 東口 晴菜 | 埼玉県立大学 |
| 平野 裕子 | 埼玉県立大学 |
| 藤田 佳代子 | 目白大学 |
| 古谷 佳由理 | 埼玉県立大学 |
| 三浦 真依 | 防衛医科大学校病院 |
| 水間 夏子 | 埼玉県立大学 |
| 村山 奈津季 | 埼玉県立大学 |
| 望月 浩江 | 埼玉県立大学 |
| 本石 莉子 | 川口市立医療センター |
| 山口 実優 | さいたま市立病院 |
| 横木 舞綺 | 越谷市立病院 |
| 横井 麻乃 | 葛飾赤十字病院 |
| 吉村 基宜 | 埼玉県立大学 |

（五十音順・敬称略）

# 後援・協賛一覧

本学術集会を開催するに当たりまして、以下の企業・団体の皆様からご支援・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

## 後　援

埼玉県産婦人科医会

公益社団法人 埼玉県看護協会

一般社団法人 埼玉県助産師会

埼玉県母性衛生学会

## 展　示

有限会社 青葉

株式会社 赤ちゃんの城

株式会社 エムシーピー

株式会社 京都科学

株式会社 高研

東洋羽毛北関東販売 株式会社

トラストレイン 株式会社

株式会社 ナチュラルサイエンス

株式会社 日総研出版

日本ライトサービス 株式会社

ラッキー工業 株式会社

## 書籍販売

株式会社 佃文教堂

## 共催ランチョンセミナー

コニカミノルタ株式会社／
旭化成メディカル株式会社

MSD 株式会社

## 広　告

医療法人愛和会 愛和病院

医療法人かしわ会 かしわざき産婦人科

医療法人恵愛会 恵愛病院

株式会社 医学書院

株式会社 金芳堂

株式会社 正文社

株式会社 ナチュラルサイエンス

株式会社 南江堂

ニチバン 株式会社

株式会社 日本看護協会出版会

## 寄　附

埼玉県産婦人科医会

# 第20回日本母性看護学会学術集会
# プログラム・抄録集

学術集会長：鈴木 幸子

事　務　局：埼玉県立大学
〒343-8540　埼玉県越谷市三野宮820
TEL/FAX：048-973-4175
E-mail：rh-spu@spu.ac.jp
学術集会HP URL：http://bosei20.umin.jp

出　　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025
http://www.secand.jp/

第20回日本母性看護学会
学術集会事務局

埼玉県立大学

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820
TEL/FAX 048-973-4175
E-Mail : rh-spu@spu.ac.jp